

平成27年度決算について

平成27年度決算が、平成28年5月24日開催の理事会で承認・確定されました。学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度より計算書類が変更されております。以下、計算書類の内容の概要を説明します。(詳細については、学園ホームページをご覧ください。)

資金収支計算書 平成27年4月1日～平成28年3月31日(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,322,326,000	5,266,411,390	55,914,610
手数料収入	89,309,000	90,906,350	△1,597,350
寄付金収入	149,710,000	182,618,912	△32,908,912
補助金収入	722,181,000	761,798,466	△39,617,466
資産売却収入	800,000,000	800,000,000	0
付随事業・収益事業収入	48,452,000	55,942,543	△7,490,543
受取利息・配当金収入	34,124,000	30,520,474	3,603,526
雑収入	212,831,000	222,575,971	△9,744,971
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,272,775,000	1,064,373,000	208,402,000
その他の収入	151,521,000	13,485,677,687	△13,334,156,687
資金収入調整勘定	△1,289,388,000	△1,308,989,828	19,601,828
前年度繰越支払資金	6,624,919,000	6,624,919,811	
収入の部合計	14,138,760,000	27,276,754,776	△13,137,994,776
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,992,966,000	3,908,341,417	84,624,583
教育研究経費支出	1,362,847,000	1,217,679,820	145,077,180
管理経費支出	659,886,000	610,900,760	48,985,240
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	144,870,000	101,224,437	43,645,563
設備関係支出	239,821,000	220,646,482	19,174,518
資産運用支出	1,700,000,000	8,493,600,000	△6,793,600,000
その他の支出	131,291,000	6,711,359,455	△6,580,068,455
[予備費]	50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	△188,566,000	△154,276,318	△34,289,682
翌年度繰越支払資金	6,045,645,000	6,167,188,723	△121,543,723
支出の部合計	14,138,760,000	27,276,754,776	△13,137,994,776

資金収支計算書について

● 資金収支計算書は、事業活動収支計算書と同様、学校法人会計基準に基づいて定められた計算書類のひとつで、一般の企業会計とは異なる学校法人会計固有の計算書類です。
● 資金収支計算書の目的は、第一に、当該会計年度における教育研究活動等の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、第二に、当該会計年度における資金の収入及び支出のてん末を明らかにすることです。

● 平成27年度の収入の部合計は27,276,754,776円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出の合計は、21,109,566,053円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,167,188,723円となりました。前年度繰越支払資金が6,624,919,811円でしたので、平成27年度決算の支払資金としては、平成26年度末と比べて457,731,088円(約6.91%)の減となりました。

事業活動収支計算書 平成27年4月1日～平成28年3月31日(単位:円)

教育活動収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒納付金	5,322,326,000	5,266,411,390	55,914,610
手数料	89,309,000	90,906,350	△1,597,350
寄付金	149,710,000	182,618,912	△32,908,912
経常費等補助金	680,181,000	719,212,466	△39,031,466
付随事業収入	45,732,000	55,942,543	△10,210,543
雑収入	110,885,000	164,549,603	△53,664,603
教育活動収入計	6,398,143,000	6,479,641,264	△81,498,264
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	3,900,744,000	3,700,518,610	200,225,390
教育研究経費	2,061,054,000	1,915,012,928	146,041,072
管理経費	731,416,000	681,760,115	49,655,885
徴収不能額等	0	4,534,000	△4,534,000
教育活動支出計	6,693,214,000	6,301,825,653	391,388,347
教育活動収支差額	△295,071,000	177,815,611	△472,886,611
教育活動外収入の部			
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	34,124,000	30,520,474	3,603,526
その他の教育活動外収入	2,720,000	0	2,720,000
教育活動外収入計	36,844,000	30,520,474	6,323,526
事業活動外支出の部			
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	36,844,000	30,520,474	6,323,526
經常収支差額	△258,227,000	208,336,085	△466,563,085
特別収入の部			
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	42,000,000	46,699,331	△4,699,331
特別収入計	42,000,000	46,699,331	△4,699,331
特別支出の部			
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	1,190,000	9,409,745	△8,219,745
その他の特別支出	0	8,720	△8,720
特別支出計	1,190,000	9,418,465	△8,228,465
特別収支差額	40,810,000	37,280,866	3,529,134
[予備費]	50,000,000		50,000,000
基本金組入前当年度収支差額	△267,417,000	245,616,951	△513,033,951
基本金組入額合計	△270,956,000	△180,555,128	△90,400,872
当年度収支差額	△538,373,000	65,061,823	△603,434,823
前年度繰越収支差額	△3,710,450,000	△3,710,449,006	△994
基本金取崩額	0	21,706,484	△21,706,484
翌年度繰越収支差額	△4,248,823,000	△3,623,680,699	△625,142,301

事業活動収支計算書について

● 事業活動収支計算書の目的は、第一に、当該会計年度の活動に対応する事業活動の収入及び支出の内容を明らかにすること、第二に、基本金組入後の均衡の状態を明らかにすることです。

● 事業活動収支計算書は、当該会計年度における収支均衡状態を示し、経営状況を明らかにするものであり、資金の動きがない実質的損益となるもの(減価償却額、現物寄付など)を含みますが、資金の動きがあっても実質的損益とならないもの(施設関係支出、設備関係支出など)は含まれません。
● 基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで「学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきもの」とされています。これは、企業会計とは異なり、教育研究活動を継続的・安定的に提供することができるかどうかを示す学校法人会計固有の目的を達成するために要請される概念であると言えます。

● 教育活動収支は、事業活動収入の部では学生生徒等納付金が予算額を下回り、手数料、寄付金、経常費等補助金、付随事業収入、雑収入が予算額を上回ったため、教育活動収入計では81,498,264円の6,479,641,264円となりました。事業活動支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費が予算額を下回り、徴収不能額等、教育活動支出計では391,388,347円の6,301,825,653円となりました。こ

れにより教育活動収支差額は、予算額を上回り177,815,611円の収入超過となりました。また、教育活動外収支は、事業活動収入の部では、受取利息・配当金、その他の教育活動外収入とともに予算額を下回り6,323,526円の減の30,520,474円となりました。事業活動支出の部では借入金等利息、その他の教育活動外支出とともに予算額及び決算額は0円です。これにより教育活動外収支差額は、30,520,474円の収入超過となりました。これにより、經常収支差額は予算額を466,563,085円上回り、208,336,085円の収入超過となりました。

● 特別収入は、事業活動収入の部では現物寄付、施設設備補助金、過年度修正額が予算額を上回ったため、特別収入計は予算額を上回り4,699,331円増の46,699,331円となりました。事業活動支出の部では資産処分差額、過年度修正額が予算額を8,228,465円上回り、9,418,465円となりました。これにより、特別収支差額は、予算額を3,529,134円下回り、37,280,866円の収入超過となりました。なお、予備費50,000,000円は未執行でした。
● 經常収支差額及び特別収支差額がともに収入超過であったため、基本金組入前当年度収支差額(繰越収支差額)はその合計額245,616,951円の収入超過となりました。一方で、基本金組入額は、予算額を90,400,872円下回り、180,555,128円となったことにより、当年度収支差額は65,061,823円の収入超過(黒字)となりました。

貸借対照表 平成28年3月31日現在 (単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	25,267,632,051	24,919,120,335	348,511,716
有形固定資産	16,174,549,141	16,625,998,825	△451,449,684
特定資産	9,058,040,000	8,258,040,000	800,000,000
その他の固定資産	35,042,910	35,081,510	△38,600
流動資産	7,064,403,733	7,348,826,427	△284,422,694
資産の部合計	32,332,035,784	32,267,946,762	64,089,022
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,580,942,362	1,700,690,407	△119,748,045
流動負債	1,310,761,775	1,372,541,659	△61,779,884
負債の部合計	2,891,704,137	3,073,232,066	△181,527,929
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	33,064,012,346	32,905,163,702	158,848,644
繰越収支差額	△3,623,680,699	△3,710,449,006	86,768,307
純資産の部合計	29,440,331,647	29,194,714,696	245,616,951
負債及び純資産の部合計	32,332,035,784	32,267,946,762	64,089,022

貸借対照表について

● 資産の部は、固定資産のうち、有形固定資産は、施設、設備の取得等より、減価償却及び除却額が上回ったことにより、有形固定資産の期末残高は451,449,684円減少し、16,174,549,141円となりました。特定資産については、建物物価引当特定資産及び法人維持特定資産への積立により、全体で800,000,000円増加し、9,058,040,000円となりました。その他の固定資産については、減価償却費が38,600円減少し、35,042,910円となりました。流動資産については、主に現金預金の減少により、全体で284,422,694円減少し、7,064,403,733円となりました。

● 負債の部は、固定負債のうち退職給付引当金が149,748,045円減少すると、固定負債全体で119,748,045円減少しました。流動負債のうち前受金が34,880,000円減少すると、流動負債全体で61,779,884円減少しました。これにより、負債の部の合計は、181,527,929円減少し、2,891,704,137円となりました。
● 純資産の部は、基本金は158,848,644円増加し、33,064,012,346円となりました。また、翌年度繰越収支差額は、事業活動収支計算書における当年度収支差額(65,061,823円)と基本金取崩額(21,706,484円)の合計額86,768,307円増加し、3,623,680,699円となりました。